

# いよいよ始まる参議院選挙

～白紙委任ではなく、政策を軸とした選挙に

(事務局)

7月4日公示、21日投開票の参議院選挙がいよいよ始まりますね。今回の選挙の特徴はどんな点でしょうか。

(堀添)

はい。まず第一に、昨年12月の総選挙で誕生した安倍政権に対する評価の場ということになります。世論調査によると安倍内閣への支持率は比較的高い状況で推移していますので、政府与党にとって有利な戦いになると思います。

(事務局)

とくにアベノミクスと呼ばれる経済政策が支持されていますね。

(堀添)

そうですね。ただ注意しなければいけないのは「3本柱」のうち金融政策と成長戦略は内容的に今までの政策から大きく変わるものではありません。期待感が高まっているのはやはり10、3兆円を皮切りとする財政出動です。しかし厳しい財政状況の中、さらに借金による大型財政出動を行うことは、金利上昇による国債利払額の急騰を含め、ハイパーインフレや国家財政破綻のリスクを高めると言えます。

「今」のために、子どもたちの世代にさらに大きな負債を負わせてしまう危険性は、決して小さくないと思います。

(事務局)

すでに国債残高は750兆円(注: 税収の17年分)を超えていますから心配ですね。

(堀添)

今回の参議院選挙の二番目の特徴は、原子力問題をはじめとするエネルギー政策や財政再建、憲法改正など大きな争点がたくさんあるにもかかわらず、それらがあまり議論されていないという点です。仮に世論調査で示されているように政権与党が圧勝した場合、少なくとも3年間安定した政権運営がされるものと思います。安定政権のもとでどのような政策を実行していくのか、その中身を方向づけるうえでも、参議院選挙は民意を示す重要な場と言えます。

すでに各党ともマニフェストや政策集を公表していますので、ぜひそれらの中身を評価し、議論していくことが大切だと思います。今回の参議院選挙からネット選挙も可能となりましたので、ネット上で丁寧に議論が重ねられることも期待したいですね。

(事務局)

その他の点についてはいかがですか。

(堀添)

先日、千葉市の熊谷俊人市長が「政治不信から棄権するのはおかしい」という話しをされていました。「棄権するのは、政治不信ではなく『政治過信』ですよ。誰に任せても生活は壊れないと思っているわけでしょ。」

私もまさにそうだと思います。ぜひとも一票の行使をしていただきたいし、できれば家族や友人といろいろと話してみしてほしいと思います。各陣営の事務所に聞きに行くのは敷居が高いかもしれませんが、ネット上の議論を丁寧に見るのでも素晴らしいと思います。

(事務局)

ありがとうございました。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

# 川崎市における放射線測定結果(7月3日現在)

**浄水場**：川崎市内の2か所の浄水場では、毎日放射能測定を行っていますが、一昨年4月22日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも検出されていません。

**大気**：環境総合研究所、中原大気測定局、麻生大気測定局で、放射線量実態調査を毎月行っており、地上5cm、50cm、100cmとも自然界の放射線レベルの範囲内です。  
(6月は6日に実施)

**市内農産物**：果菜類(トマト、きゅうり)、根菜類(さつまいも、大根、玉葱)、果実(梅、梨、柿)の出荷前チェックでは、一昨年5月に梅(セシウム：29.5ベクレル/Kg)、10月に柿(セシウム：4.5ベクレル/Kg)から検出された以外は、検出されていません。  
(食品衛生法上の基準値は一般食品100ベクレル/Kg以下)

**水道水**：不検出

**下水汚泥等**：入江崎総合スラッジセンター(6月10日測定) 放射性セシウム測定  
脱水汚泥：不検出 汚泥焼却灰：431 Bq/Kg  
(焼却灰は飛散防止処理の上、施設内等で安全に保管されています。)

**ごみ焼却灰**：橋処理センター(6月6日測定) 放射性セシウム測定  
主灰：50 Bq/Kg  
飛灰：149 Bq/Kg  
排ガス：不検出  
(飛灰は飛散防止処理の上、臨海部保管施設等で安全に保管されています。)

**放射線測定器の貸し出しを高津区役所でも行っています。  
(電話予約が必要です。044-861-3113)**

連載コラム **川崎と高津の地名(No.11)** 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」  
日本地名研究所編「川崎の町名」

## 「末長」の由来

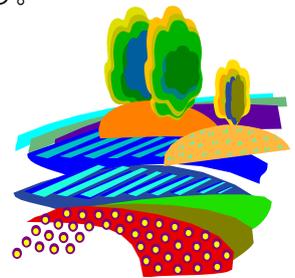
末長の地名は、『小田原衆所領役帳』の中に「稲毛末長」と記載されていますので、稲毛庄と深い関係のある地域であったと言われています。

地名の由来は、やはりはっきりしていませんが、言い伝えとしては、平安時代後期の武将で陸奥の国守であった八幡太郎義家(源義家)が後三年の役の帰途、寛治5年(1091年)1月15日に、この地の丘の上に奇異な石を見つけ、この石に武運を祈り、弓矢を納めて、民の「末永く」栄えんことを願った、という伝承が残っています。

この地の半分を占める低地は、水田の地割から条里制も施行されたと考えられており、かなり古い時代に開発されたものと思われます。

北西部には東急田園都市線の梶が谷駅がありますが、ここには駅ができる前に、「池の谷(やと)の溜池」がありました。

明治22年、市制・町村制施行に伴う7村合併により、末長は橋村の大字となりました。



## 政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

## 「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169  
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294